

## 日本金属学会 新材料・新機能創成研究会 第2回研究会（講演・意見交換）開催案内

来る4月28日（金）に下記の日時・場所にて、第2回研究会（講演会・意見交換）を開催致します。

日時：2023年4月28日（金）13:30～16:45

場所：東北大学東京分室（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階）

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/tokyo/index.html>

### 【当日スケジュール】

・13:30 開会挨拶

・13:35～14:35 ご講演

講師 吉見 享祐 教授 東北大学 総長特別補佐 大学院工学研究科知能デバイス材料学専攻  
文部科学省 極限環境対応構造材料研究拠点 拠点長

「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト事業の取り組み」

・14:35～15:35 ご講演

講師 内山 愛文 氏 株式会社 ARISE analytics

Customer Analytics Division

「マーケティング分野へのデータサイエンスの活用」

・15:35～16:40 意見交換

・16:45 閉会の挨拶

・17:00 希望者のみによる懇親会

参加ご希望の方は、東北大学・須藤 ([ysutou@material.tohoku.ac.jp](mailto:ysutou@material.tohoku.ac.jp)) までご連絡くださいませ。

### 研究会概要：

マテリアル革新力強化戦略に立脚して、産学官が一体的かつ迅速に研究開発を進めることにより、材料分野における我が国の産業競争力を強化し、イノベーションを継続的に創出していくことが強く求められている。特に我が国のマテリアル・イノベーションに関しては、データ駆動型研究開発基盤の整備と物事の本質の追求による新たな価値の創出が必須と考えられている。しかしながら、こういった産学連携の推進には、産業界と学界の相違、基礎と応用の相違、物質科学と材料工学の相違、機能性材料と構造材料の相違等々、様々な溝が横たわる。マテリアル・イノベーションに向けて障害となるこれら溝を埋めるためには、両者のプロトコルを一体化し相乗効果を生み出す仕掛けが必要であり、これを実現可能とするのがデジタル・トランスフォーメーション（DX）である。カーボン・ニュートラルや新エネルギーおよびその変換技術、環境問題、さらには新宇宙開拓時代などの新技術に向けて、科学と技術を伝承し、安全・安心で夢のある未来社会を構築するためには、人類共通の社会課題を解決する材料や素材のあり方を新たな視点と共に体系化していく必要がある。そこで本研究会では、近代製鉄から始まった現代の材料体系を分野横断的に整理し、金属、セラミックス、炭素材料、高分子材料等に対して、機能、資源、製造技術、流通、循環、環境負荷等を、総合的かつ俯瞰的に議論する。そして、そこから導き出される次世代に向けた新材料や材料の新機能への要求を抽出し、これに対するDXの利活用を模索する。

皆様のご参加をお待ちしております。

代表世話人 吉見享祐

東北大学大学院工学研究科・教授

東北大世話人 須藤祐司

東北大学大学院工学研究科・教授